

開講学科	教職センター(生物工学科)	前橋工科大学 シラバス			
科目名	教職実践演習(高)	標準対象年次	選択/必修	科目コード	
		4年次	必修	21001401	
担当教員	菅原 一晴、門屋 利彦、小林 清	単位数	学期	曜日	時限
		2単位	後期	木曜日	6時限
授業の教育目的・目標	教員として最小限必要な資質能力の全体について、教職課程の履修を通じて、確実に身に付けさせるとともに、その資質能力の全体を明示的に確認することを目的とする。				
学科の学習・教育目標との関係	「社会人としての確かな見識と現場での実践力を備え、生徒への支援ができる。」という目標を達成するために、教職としての資質能力全体を振り返り、補充、深化をさせる。				
キーワード	学校教育、理科教育、教育実習、生徒指導、カウンセリング				
授業の概要	模擬授業や場面指導を行い、それに対するグループ討論において学生間の意見交換により今後の教員としてのビジョンを構築する。また、複数の教員の協力方式により多面的な観点から助言ならびに指導を踏まえ、より実践的な対応のあり方を考える。				
授業の計画	第1回： 講義のすすめかた(菅原) 第2回： 教職の意義や教員の役割、職務内容についてのロールプレイング(小林) 第3回： 教職の意義や教員の役割、職務内容についてのグループ討論(小林) 第4回： 生徒に対しての接し方を通しての教員の社会性についてのロールプレイング(小林) 第5回： 生徒に対しての接し方を通しての教員の社会性についてのグループ討論(小林) 第6回： 学級経営についてのグループ討論(小林) 第7回： 中学校と高等学校とをつなぐ理科教育に関するグループ討論(菅原) 第8回： 実験操作と安全性についてのグループ討論(菅原) 第9回： 物理に関する模擬授業とその指導法についての考察(菅原) 第10回： 化学に関する模擬授業とその指導法についての考察(門屋) 第11回： 生物に関する模擬授業とその指導法についての考察(門屋) 第12回： 地学に関する模擬授業とその指導法についての考察(菅原) 第13回： 大学と高等学校間との連携と理科教育に関するグループ討論(門屋) 第14回： 科学技術と理科教育についてのグループ討論(門屋) 第15回： 教員としての資質能力に関する総括(門屋)				
受講条件・関連科目	受講条件：教職課程履修者 関連科目：教職に関する科目				
授業方法	ゼミ形式				
テキスト・参考書					
成績評価	・試験(50%) ・レポート(50%) ・その他 注意事項()				
履修上の注意					